

令和5年
3月号

きよた暮らしラボ ニュースレター

SAPP
RO

地域交流拠点清田の機能向上に向けた 取組は2年間を経て、次のステップへ！

地域交流拠点清田（以下、『清田』と表記します）である清田区役所周辺の将来イメージや必要な機能・活動などについて意見交換を行う「きよた暮らしラボ（きよラボ）」を2年間実施してきました。

これまできよラボで出されたアイデアを『清田』の恒常的なにぎわいづくりへどのように活用できるか検証するため、きよラボ参加者や地域の皆さんにご協力をいただきながら、実証実験「Fun!Fan!KIYOTA」を3回実施しました。

実証実験の結果を踏まえ、今後もこのような取組を継続するための方向性をまとめました。



●令和4年度 きよた暮らしラボの流れ

第1回（7月3日） ・ 恒常的なにぎわいに向けた実証実験について

第2回（7月24日） ・ 秋の実証実験の企画内容と進め方について



開催結果はニュースレター
令和4年8月号を
ご覧ください。

実証実験1 オープンカフェ&マルシェ

2022年9月10日（土）～18日（日）清田区役所ロータリー・市民交流広場
1日あたり150～360名が来場（雨天時を除く）
※きよフェスと同時開催の日は1,560名

検証内容
①オープンスペースでの行動創出
②日常利用向上の可能性



日常的に
使われた！

実証実験2 きよっち探検隊（まち歩き）

2022年10月15日（土）清田区役所・区民センター周辺
歴史や自然を学ぶまち歩きに子ども約90名が参加

検証内容
①地域の団体との連携の可能性
②歩いてみたくなる要素の抽出
③区役所周辺への移動手段



地域団体間の
連携を
確認できた！

第3回（10月22日） ・ 秋の実証実験の振り返りと冬の実証実験の企画内容を考える

実証実験3 きよた灯りカフェ 2023年2月4日（土）
清田区役所・市民交流広場・あしりべつ神社

詳細は
裏面を
ご覧ください

第4回（2月18日） ・ 地域交流拠点清田の今後の方向性を考える

実証実験3 **きよた灯りカフェ**

2023年2月4日(土)
清田区役所・市民交流広場・あしりべつ神社

約 50 名のお子さんがスノーキャンドルづくりに参加し、市民交流広場とあしりべつ神社で 1,000 個以上のスノーキャンドルが点灯されました。区役所内ではカフェスペースの利用や音楽コンサートを楽しむ姿があり、屋内外あわせて常時 40 ～ 70 名の来場者がありました。

検証 ①地域の団体との連携の可能性
内容 ②屋内・屋外空間の活用と滞在の可能性



地域の皆さんの協力のもと冬期に屋内外で人々が集う場づくりを実現！

第4回 **きよた暮らしラボ** 2023年2月18日(土)13時30分～15時30分

実証実験の結果を踏まえ、「にぎわいづくり」を継続するために必要な体制や時期、ルールなどについて、意見交換を行いました。

広場を芝生化してほしい！



若い世代や企業にも協力してもらおう！

いつも何かやっている場をつくろう！

NPO 法人を立ち上げよう！



地域と行政が協力しながら、“にぎわいづくり”を継続していく方向性が確認されました。

●今後の方向性

ハード

将来的な区民センターの移転に合わせて整備

- ・屋内で滞在・交流できる機能
- ・屋外における休憩機能
- ・交通機能 など

市で推進

ソフト

清田区役所屋内、市民交流広場などを活用した日常使いを継続

(例) キッチンカー、カフェ、フリーマーケット、
農産物直売、カルチャースクール、アウトドア など

地域が市と連携

マネジメント

日常使いの取組を継続できる体制づくり



『清田』の恒常的なにぎわいづくりに向けて、ハード・ソフト・マネジメントの3つの視点で検討してきました。これまでの取組も踏まえて、今後も公共空間を活用したにぎわいづくりを続けていく予定なので、引き続き、ご協力のほど、よろしくお願いいたします！

問い合わせ先

札幌市 まちづくり政策局 政策企画部 政策推進課

電話：011-211-2139 FAX：011-218-5109

きよた暮らしラボのこれまでの取組についてはホームページをご覧ください。

